香港立法会選挙
「完全な選挙制度」と「愛国者によるガバナンス」
@ttac 另類中国研究会　2021/12/29
完善選舉制度
落實愛國者治港
Improve Electoral System
保一國兩制　促安定繁榮
Preserve One Country, Two Systems
Enhance Stability and Prosperity

Stand News 立場新聞
剛剛 ·

立場新聞停止運作公告

警方今早（29 日）拘捕本公司多名高層及前高層人員、帶走多人協助調查，並在立場新聞辦公室檢走多部電腦及部分文件，立場新聞已為涉事人員提供協助。

因應情況，立場新聞即時停止運作，包括網站及所有社交媒體立即停止更新，並將於日內移除。署任總編輯林紹桐已請辭，立場新聞所有員工已即時遣散。

立場新聞前身為主場新聞，於 2014 年 12 月成立、以不牟利原則營運，立足香港主場，《立場》編採方針獨立自主，致力守護民主、人權、自由、法治與公義等香港核心價值，至 2021 年 12 月 29 日停運。

感謝讀者一直支持。

立場新聞

2021.12.29

ホームページ　大使館メッセージ　中国フォーカス　中日エクスプレス　中国ボイス

駐日中国大使館報道官,香港特区立法会選挙に関わる日本側の誤った言論について厳正な立場を表明

2021-12-21 15:32

１２月２１日、日本はＧ７の他の国々とグルになっていわゆる香港に関する外相声明を発表した。日本の外務省は香港情勢についていわゆる外務報道官談話を発表し、香港特区の第７期立法会選挙について公然とあれこれ勝手なことを言い、わけもなく香港の選挙制度のイメージを汚し、中傷し、中国の内政に乱暴に干渉して、国際関係の基本的準則に著しく違反した。中国はこれに断固反対し、強く非難する。

香港は中国の香港である。香港がどのような民主主義の道を歩み、どのような選挙制度を実行するかは完全に中国の内政であり、いかなる外部勢力の干渉も許さない。中国政府の国家の主権、安全、発展の利益を守る決意は揺るぎなく、いかなる外部勢力の香港の事柄への関与にも反対する決意は揺るぎないものだ。香港の選挙制度を汚し、中傷し、香港の民主主義と法治のプロセスを妨げようとするいかなる企ても、また、香港の繁栄・安定を破壊し、中国の発展を阻止しようとするいかなる画策も目的を果たすことはできない。

１２月１９日に行われた香港の立法会選挙は滞りなく終了した。これは香港が混乱を収拾し、収拾から繁栄に向かう鍵となる時期に行われた重要な選挙であり、「愛国者による香港統治」の原則を実行に移し、「一国二制度」の長期の安定・永続を図るうえで重要な意義を持つ。今回の選挙は公平、公正、公開、安全、クリーンなものであり、有権者の民主的諸権利が十分に保障され、香港社会各界の幅広い支持と擁護を得た。これは香港の実情にかなう質の高い民主主義を発展させるのに有利であり、香港の良い政治体制で効率よく統治する新たな枠組みを築くのに有利である。われわれは確固として揺らぐことなく「一国二制度」の枠組みの下で香港の実際の状況に合致した民主主義制度を発展させていく。香港の民主主義発展の見通しは明るく、民主主義の道は必ず歩むほどに広々としたものになるだろう。

日本側のこのところの香港に関わる問題におけるネガティブな動きに対し、中国側はすでに何度も厳正な立場を明らかにし、強い不満を表明してきた。今回、日本は我を張って関係国とグルになり、香港問題で再び事を荒立て、面倒を引き起こし、中日関係に著しい妨害をもたらした。中国は日本が現実と大勢を見極め、中日の四つの政治文書の精神を順守し、いかなる方式にせよ香港の事柄と中国の内政に関与することをやめるよう強く促す。

◎立法会の混乱？〈2019 年 6 月 6 日　民主派若手議員らが逃亡犯条例審議阻止で 5 時間議場を占拠〉

■許智峯和朱凱廸爬上長梯，被保安築成人鏈包圍。　梁譽東攝

〈2019 年 10 月 16 日〉

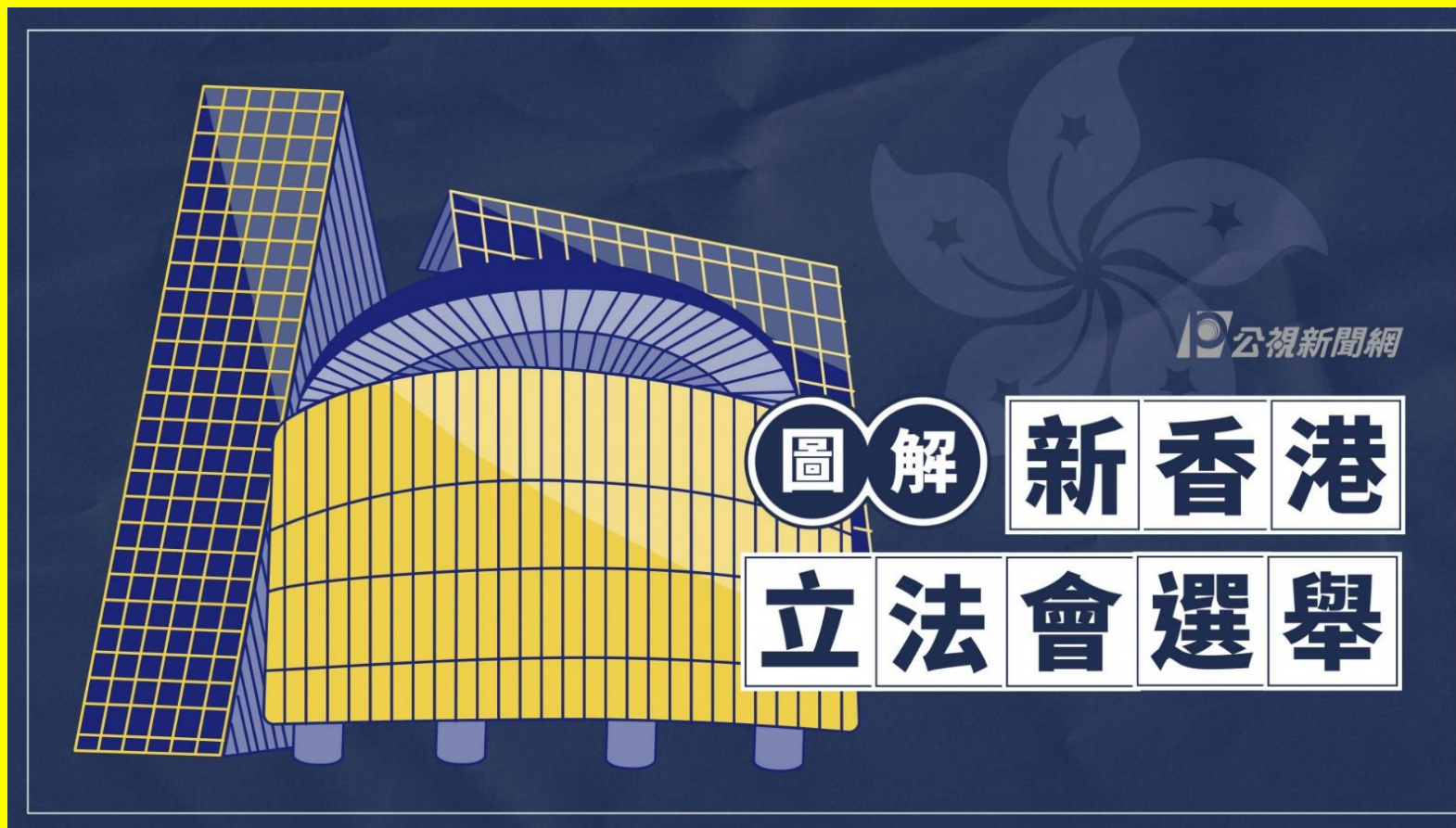
〈2019年7月1日〉

強調愛國者治港 香港立法會選舉如何被「完善」？

愛国者による香港統治の強調 香港立法会の選挙制度はどのように「整備された」のか

https://news.pts.org.tw/article/558990 2021-12-17 14:31 文／陳祖傑 設計／許靜之

公視新聞網

圖解 新香港 立法會選舉

コロナで一年間延期された第七回香港立法会選挙が、12 月 19 日に実施される。2020 年に「香港国家安全維持法」、21 年に「香港選挙制度を整備にすることについての決定」が可決されて初めての大型選挙。

この 2 年、中国政府は香港に対する統制を強め、「愛国者による香港統治」を強調してきた。候補者は資格審査を通過しないと立候補できなくなった。これまでの民主派活動家の多くが拘留中であったり議員資格を抹消されており、今回の選挙は「内輪の選挙になり、投票率も史上最低になると言われている。

3 月、中国全人代で香港立法會選挙法が改訂 「完全に整備」された

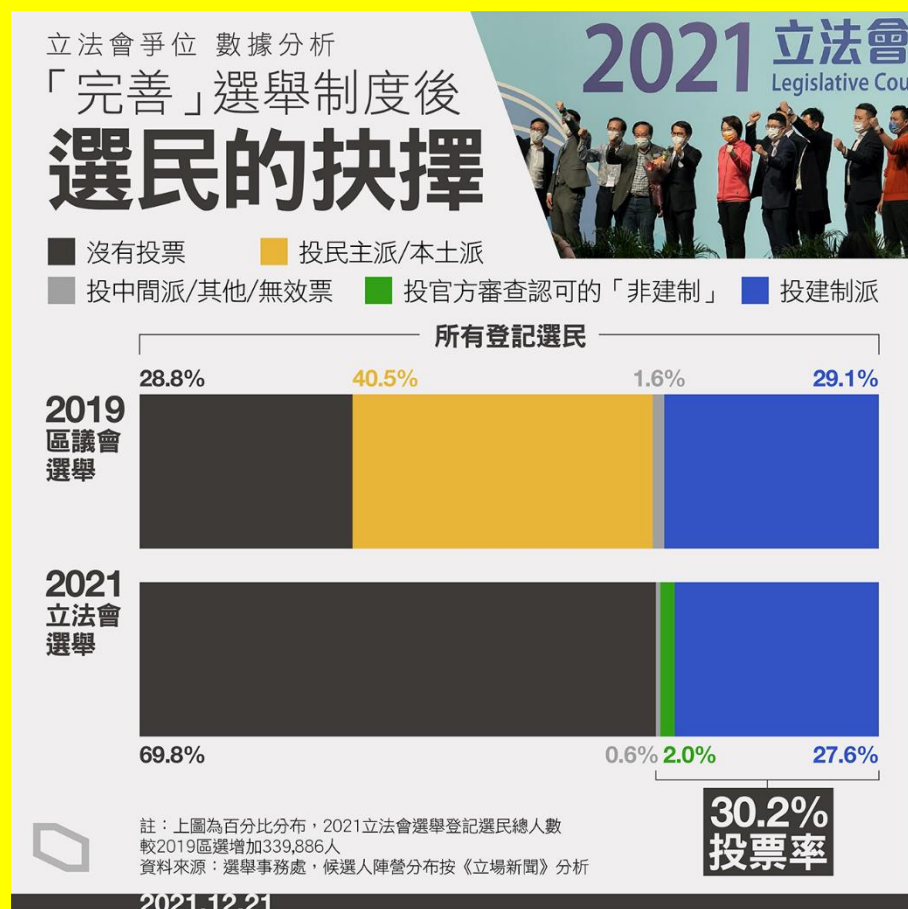
逃亡犯条例改定反対運動〔以下、反送中〕により 2019 年 11 月末の区議会選挙〔香港立法会のひとつ下のレベルの議会〕の投票率は 71.2%と史上最高を記録し、民主派が圧勝し、18 区 479 議席のうち，民主派は 388 議席を得た。中国政府はすぐに反撃し、2020 年 6 月 30 日に「香港版国家安全維持法」〔以下、国安法〕を施行し、「愛國者による香港統治」を統治の基本原則とした。2021 年 3 月 11 日には中国全人代〔中国の国会〕で 2,895 票の賛成、1 票の棄権で《香港選挙制度を完全に整備に関する決定》を可決し、全人代常務委員会において「行政長官の選出方法」「立法会の選出方法と採決方法」に関する規定がつくられた。

新制度では定数が70議席から 90 議席へと増加し、民意をより反映する議会になるかにみえるが、選挙委員会が選出する立法委員の定数が40議席新設されたことで、実際には直接選挙で選出される議員の数が減る事態になる。地域別に住民の直接選挙で選出される立法議員の定数が 35 議席から 20 議席に激減。さらに区域横断区議枠という事実上の直接選挙枠 5 議席も廃止されたことで、70 議席のうちの直接選挙枠 40 議席（57％）から、新たな制度では 90 議席のうち直接選挙枠は 20 議席（22％）になってしまった。

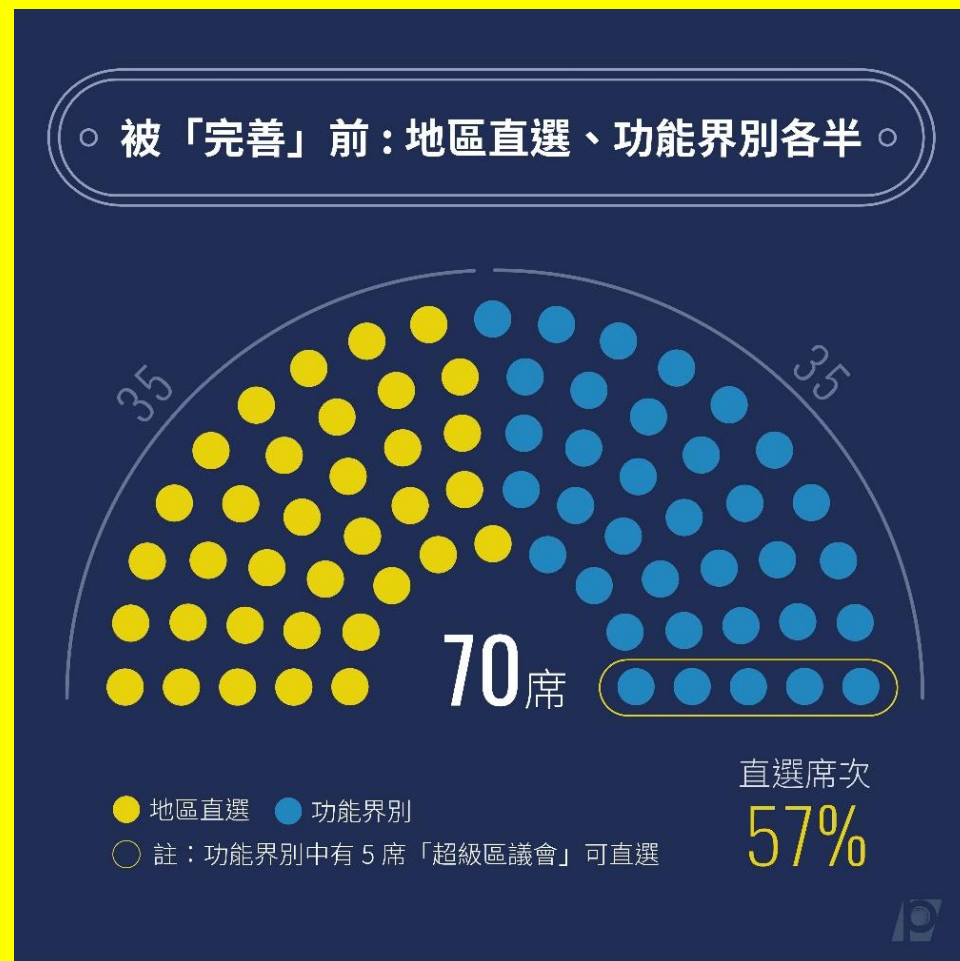
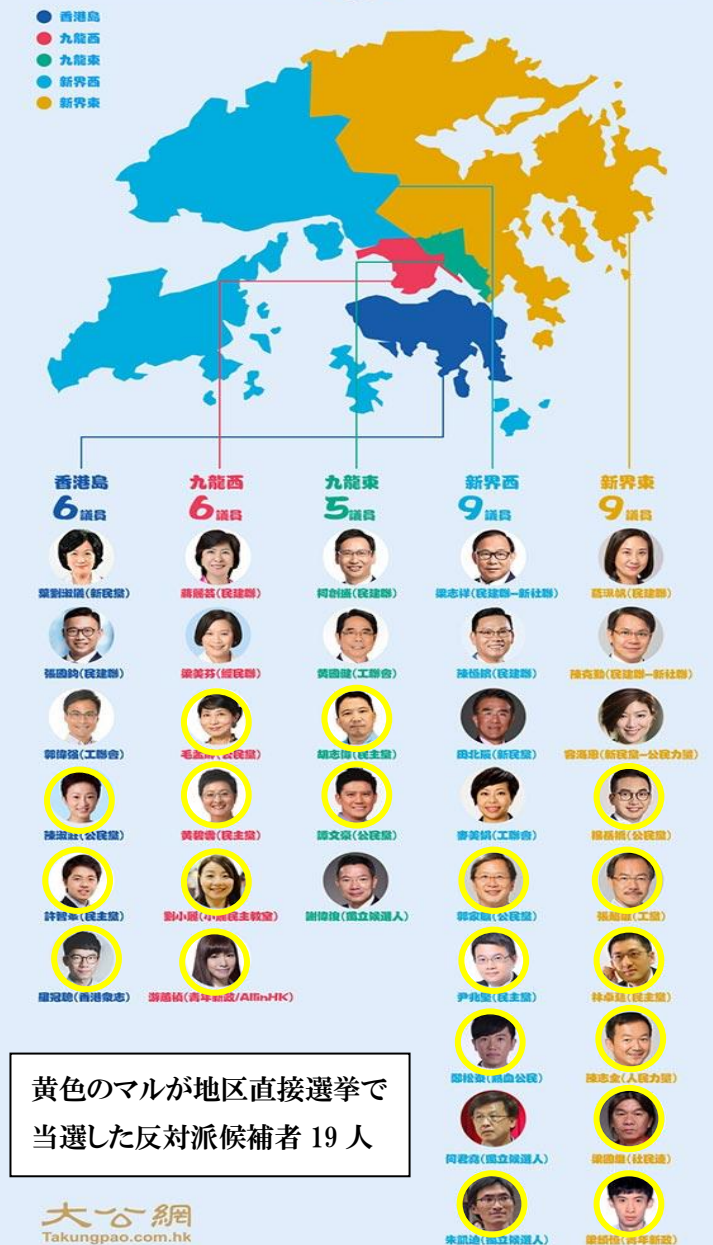
さらに今回の立法会選挙では初めて「資格審査」が導入される。立候補を予定する者は、基本法を擁護し、香港に忠誠を誓うという条件が課せられ、資格審査委員会がその審査を行い、審査に通過しなければ立候補できない。

民間の調査機関である「香港民意研究計劃」が 12 月 7 日に公表した調査結果では、「投票に行く」と応えたのは調査対象者の 51%に留まり、直近4回の同じ調査のなかで最低の数字。「いかない」は 36%に達した。

全国政治協商会議の委員〔中国の国政の諮問機関で約 2100 人の委員のうち香港出身は 200 人〕の張志剛は、地域直接選挙の投票率は 2 割ほどだと予測する。これまで投票率が高かった理由は反対派が対立を煽ってきたからだとする。

議席数の増加、資格審査の導入のほかに、「白票、無効票を投じる」行為などに対しては、「選挙妨害条例」を改訂し、投票ボイコットや無効票の投票などを禁じ、違反すると法的責任が問われることに。また選挙期間中に違法行為に関する発言なども法に問われる。

「完全に整備」される前の選挙――不完全な民主主義

これまでの選挙制度では、香港議会の定数は 70 議席で、「地区直接選挙」と「職能（功能）別直接選挙」でそれぞれ 35 人の議員を選出してきた。

地区直接選挙では香港島（定数6）、九龍西（6）、九龍東（5）、新界西（9）、新界東（9）の 5 つの選挙区から住民一人一票の直接選挙で 35 人を選出してきた。

職能（功能）別選挙は、医師、労働組合、会計士、貿易関連、製造業など、それぞれの職業や業界など 29 のカテゴリーから 35 人の議員を選出する。

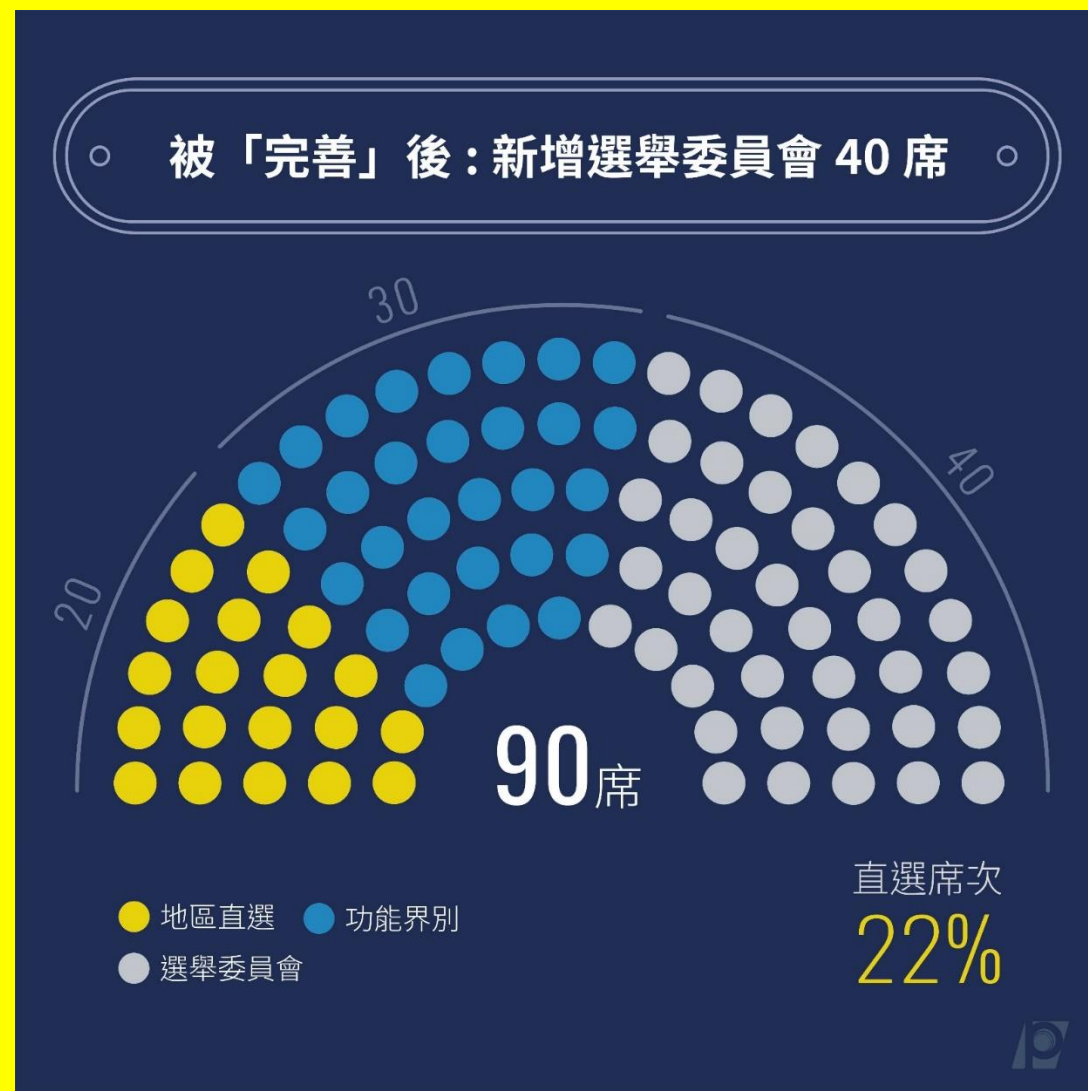
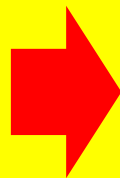
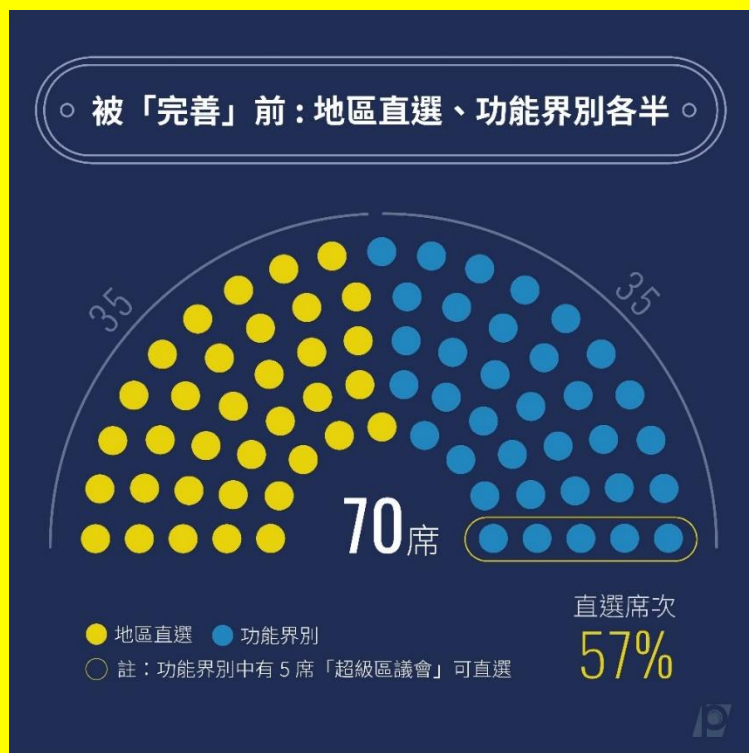
ビジネス、旅行業、製造業など、多くは団体票方式を採用しており、各カテゴリーの企業や団体ごとに一票の選挙権がある。一部のカテゴリー（教員、弁護士、会計士の資格業など）では一人一票の方式が採用されている。

例えば、香港島選挙区の弁護士は、香港島選挙区から立候補している候補者に一票、弁護士業界選挙区から立候補している弁護士の候補者に一票と、2 票の投票権がある。

この職能別選挙区には、定数5議席の「區議會 （第二）」というカテゴリーがあり、「超越区議会選挙区」と呼ばれている。いずれの職能別選挙区の投票権もない有権者が、投票することができる。

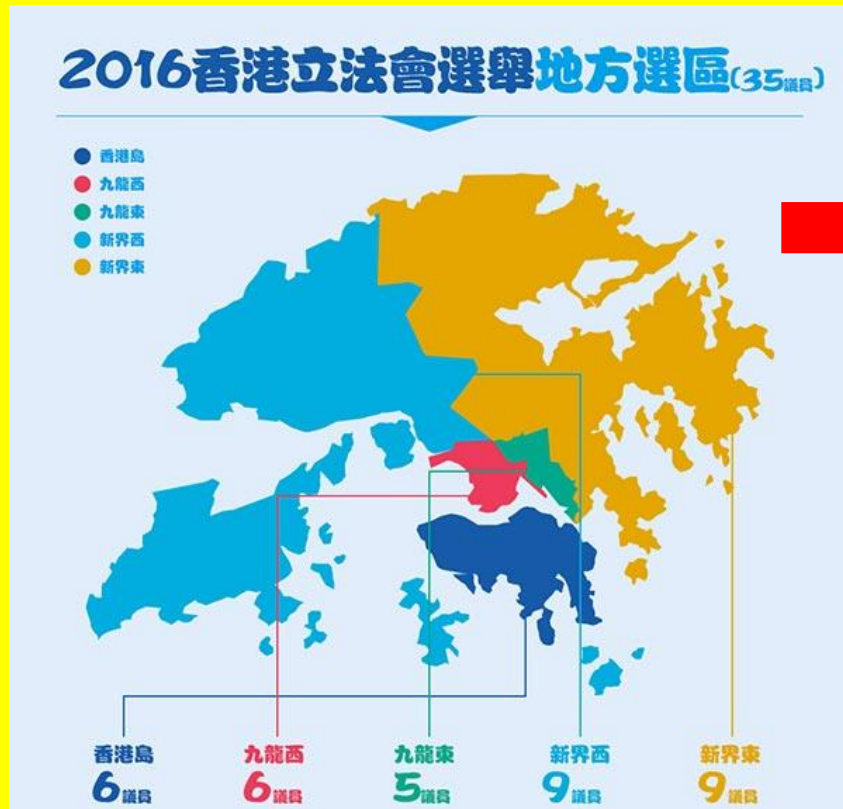
例えば、九龍東選挙区の住民で旅行会社でガイドをしている有権者は、九龍東選挙区の候補者に投票できるが、旅行業者選挙区は団体票（会社）方式なので投票権がないので、「区議会（第2）」の職能別選挙区に立候補している候補者に投票することができる。

〔この職能別選挙区は、英植民地時代の統治方式を引き継いだもの〕

「完全なものに整備された」あとの選挙——死の間際の民主 中国式イエスマン議会

2021 年 3 月の全人代の決定により選挙制度は大幅に変わった。

被「完善」後：新增選舉委員會 40 席

30
20
40
90席
地區直選
功能界別
選舉委員會
直選席次
22%

「地区直接選挙区」は35→20 議席に。選挙区は5→10 に。それぞれの選挙区は定数2、合計 20 議席。

「職能別選挙区」は35→30議席。事実上の直接選挙枠であった

「区議会(第 2)」が廃止。定数1の「区議会(第一)」は 480 名の区議の互選で一人を選出する選挙区で、区議会の大半は 19 年 11 月に民主派が圧勝していたので民主派の立法議員の誕生が確実視されていたが、この選挙区も廃止。代わりに全人代など中国国内で公職につく香港人の職能別選挙区が新設。

2021選民登記數字出爐
年輕選民人數大跌
部分功能組別轉團體票
選民人數瀉逾9成

	2020 選民登記	2021 選民登記	
18-30歲	743,852	695,766	▼ 6.46%
其中18-20歲	120,239	93,516	▼22.22%
31-60歲	2,303,913	2,289,184	▼ 0.64%
61歲或以上	1,419,179	1,482,413	▲ 4.46%
功能組別 科技創新界 (原為資訊科技界)	13,000	73 (只有團體票)	▼ 99.4%
飲食界	8,018	141 (只有團體票)	▼ 98.2%
體育、演藝、文化及出版界	4,268	257 (只有團體票)	▼ 94.0%

新增界別	■ 港區全國人大代表、港區全國政協委員及有關全國性團體代表界 ■ 商界(第三) ■ 科技創新界
廢除界別	■ 區議會(一) ■ 區議會(二) ■ 資訊科技界
合併界別	■ 醫療衛生界(選民基礎將會包括來自中醫業的代表)
登記資格有改動的界別	■ 飲食界 ■ 體育、演藝、文化及出版界 ■ 醫療衛生界 ■ 漁農界 ■ 航運交通界 ■ 旅遊界 ■ 紡織及製衣界 ■ 批發及零售界 ■ 進出口界
取消個人票的功能界別	■ 飲食界 ■ 體育、演藝、文化及出版界 ■ 地產及建造界 ■ 商界(第二) ■ 「批發及零售界」 ■ 「進出口界」 ■ 紡織及製衣界

2020年功能界別選民分佈

	功能界別名稱	已登記為選民的數目		
		團體 (i)	個人 (ii)	總數 (i)+(ii)
1	鄉議局	---	155	155
2	漁農界	152	---	152
3	保險界	134	---	134
4	航運交通界	191	---	191
5	教育界	---	85,698	85,698
6	法律界	---	7,455	7,455
7	會計界	---	27,778	27,778
8	醫學界	---	12,302	12,302
9	衞生服務界	---	40,471	40,471
10	工程界	---	10,647	10,647
11	建築、測量、都市規劃及園境界	---	9,096	9,096
12	勞工界	712	---	712
13	社會福利界	---	13,935	13,935
14	地產及建造界	480	191	671
15	旅遊界	1,486	---	1,486
16	商界 [第一]	1,230	---	1,230
17	商界 [第二]	556	714	1,270
18	工業界 [第一]	442	---	442
19	工業界 [第二]	640	---	640
20	金融界	121	---	121
21	金融服務界	814	---	814
22	體育、演藝、文化及出版界	3,620	648	4,268
23	進出口界	984	619	1,603
24	紡織及製衣界	1,566	41	1,607
25	批發及零售界	2,317	3,787	6,104
26	資訊科技界	375	12,625	13,000
27	飲食界	2,380	5,638	8,018
28	區議會 [第一]	---	452	452
	總數	18,200	232,252	250,452

2021年功能界別選民分佈

	功能界別名稱	已登記為選民的數目		
		團體 (i)	個人 (ii)	總數 (i)+(ii)
1	鄉議局	---	161	161
2	漁農界	176	---	176
3	保險界	126	---	126
4	航運交通界	223	---	223
5	教育界	---	85,117	85,117
6	法律界	---	7,549	7,549
7	會計界	---	27,778	27,778
8	醫療衞生界	---	55,523	55,523
9	工程界	---	10,772	10,772
10	建築、測量、都市規劃及園境界	---	9,123	9,123
11	勞工界	697	---	697
12	社會福利界	---	13,974	13,974
13	地產及建造界	463	---	463
14	旅遊界	192	---	192
15	商界 [第一]	1,041	---	1,041
16	商界 [第二]	421	---	421
17	商界 [第三]	288	---	288
18	工業界 [第一]	421	---	421
19	工業界 [第二]	592	---	592
20	金融界	114	---	114
21	金融服務界	760	---	760
22	體育、演藝、文化及出版界	257	---	257
23	進出口界	231	---	231
24	紡織及製衣界	348	---	348
25	批發及零售界	2,015	---	2,015
26	科技創新界	73	---	73
27	飲食界	141	---	141
28	香港特別行政區全國人大代表香港特別行政區全國政協委員及有關全國性團體代表界	---	678	678
	總數	8,579	210,675	219,254

2019 年　區議會(第二)功能界別(5 議席)　　選民為 3,861,684 名　→　0 ！

新設された「選挙委員会」選挙区の定数は 40 議席と最も多い。この 40 議席は 1500 人の「選挙委員」に選挙権、被選挙権がある。職能別選挙区以上に閉鎖的な制度。選挙委員会はビジネス、金融、社会団体、労働組合、中国国内の公職に就く香港人および全国組織の香港支部メンバーなどの職能別に選出される。1500 人の選挙委員は、40 人の立法委員の他に、来年予定されている行政長官も選出する。

2016 年　選挙委員会　1200 人の職能別内訳

界別	席位	界別	席位
第一界別		高等教育界	30
飲食界	17	法律界	30
香港僱主聯合會	16	會計界	30
香港中國企業協會	16	醫學界	30
保險界	18	衛生服務界	30
航運交通界	18	工程界	30
地產及建造界	18	建築、測量、都市規劃及園境界	30
旅遊界	18	資訊科技界	30
酒店界	17	第三界別	
商界（第一）	18	漁農界	60
商界（第二）	18	勞工界	60
工業界（第一）	18	社會福利界	60
工業界（第二）	18	體育、演藝、文化及出版界[註]	60
金融界	18	宗教界	60
金融服務界	18	第四界別	
進出口界	18	中國人民政治協商會議	51
紡織及製衣界	18	港九各區議會	57
批發及零售界	18	新界各區議會	60
第二界別		鄉議局	26
中醫界	30	全國人民代表大會	36
教育界	30	立法會	70

2016年選舉委員會界別分組投票人分佈

界別分組名稱		已登記為投票人的數目		
		團體 (i)	個人 (ii)	總數 (i)+(ii)
第一界別				
1	飲食界	997	4,533	5,530
2	商界 [第一]	1,045	---	1,045
3	商界 [第二]	603	857	1,460
4	香港僱主聯合會	139	---	139
5	金融界	122	---	122
6	金融服務界	622	---	622
7	香港中國企業協會	288	20	308
8	酒店界	120	---	120
9	進出口界	853	526	1,379
10	工業界 [第一]	542		542
11	工業界 [第二]	764	---	764
12	保險界	131	---	131
13	地產及建造界	484	222	706
14	紡織及製衣界	2,274	56	2,330
15	旅遊界	1,298	---	1,298
16	航運交通界	195	---	195
17	批發及零售界	1,844	4,862	6,706
	小計	12,321	11,076	23,397

2016年選舉委員會界別分組投票人分佈

界別分組名稱		已登記為投票人的數目		
		團體 (i)	個人 (ii)	總數 (i)+(ii)
第二界別				
1	會計界	---	26,001	26,001
2	建築、測量、都市規劃及園境界	---	7,370	7,370
3	中醫界	---	6,143	6,143
4	教育界	---	80,643	80,643
5	工程界	---	9,405	9,405
6	衞生服務界	---	37,387	37,387
7	高等教育界	---	7,497	7,497
8	資訊科技界	400	11,709	12,109
9	法律界	---	6,769	6,769
10	醫學界	---	11,189	11,189
	小計	400	204,113	204,513
第三界別				
1	漁農界	154	---	154
2	勞工界	668	---	668
3	社會福利界	309	13,821	14,130
4	體育、演藝、文化及出版界	2,515	394	2,909
	小計	3,646	14,215	17,861
第四界別				
1	中國人民政治協商會議	---	91	91
2	鄉議局	---	147	147
3	港九各區議會	---	208	208
4	新界各區議會	---	223	223
	小計	---	669	669
總計		16,367	230,073	246,440

選挙委員会 1200→1500 人に。わずか約 25 万人の有権団体から選ぶ職能別選挙。さらに 21 年 9 月 19 日に行われた選挙委員会選挙では、有権団体は 7971 に激減。個人票を廃止した。「内輪の選挙」と言われるゆえんだが、その内輪 1500 人の委員が 40 人の立法委員をえらぶ「内輪も内輪の選挙」となった。12 月の立法会選挙での選挙委員議席、そして来年 3 月の行政長官選挙を左右

2012-2021年登記投票人人數

年份	登記投票人人數
2012	246,873
2013	244,217
2014	239,089
2015	235,848
2016	246,440
2017	243,638
2018	237,749
2019	236,760
2020	257,992
2021	7,971

まとめると、これまでの選挙制度は不完全であったが、一人一票で選出する議席が 70 議席中 40 議席、57%あったが、新たな選挙法のもとでは 90 議席中 20 議席、22%に後退した。職能別選挙区では、これまでは体制派(建制派)が多数を占めてきた。たとえば 2016 年の選挙では職能別選挙区 35 議席のうち、体制派は 24 議席を獲得した。さらに選挙委員会が選出する 40 議席のほとんどが体制派であり愛国者であることから、新しい議会は反対派のいない議会になるだろう。

2021選舉改制，立法會一夜回到80年代？
直接選舉
間接選舉①
政府委任
委任時期
立法局
1947
非官守
官守
1951
非官守
官守
1964
非官守②
官守③
間選時期
部分
1985
選舉團選出
功能組別
官守
委任
1988
選舉團選出
功能組別
官守
委任
直選時期
部分
1991
地區直選
功能組別
官守
委任
1995
地區直選
新九組④
功能組別
由民選區議員組成的
選舉委員會推選
北京不滿彭定康政改，拒絕讓95年立法局議員直接過渡，並於96年底成立「臨時立法會」
1998
地區直選
功能組別
由四大界別組成的
選舉委員會推選
2000
地區直選
功能組別
由四大界別組成的
選舉委員會推選
直選時期
立法會部分
2004
地區直選
功能組別
2008
地區直選
功能組別
2012
地區直選
傳統功能組別
超級區議員⑤
2016
地區直選
傳統功能組別
超級區議員
改制
人大宣布
2021
地區直選
傳統功能組別
人大修改後的選委會推選
版本1
2021
地區直選
傳統功能組別
人大修改後的選委會推選
版本2
0
20
40
60
80（議席人數）
①間接選舉 由選民選出的代表投票 ②非官守議員 沒有官員身份的議員 ③官守議員 因公職自動出任議員的官員，不包括擔任主席的港督 ④新九組 彭定康政改方案新增九大行業為功能組別，從業員自動成為選民，選民數高達106萬，變相接近直選 ⑤超級區議員 民選區議員可提名、參選，由未有其他功能界別投票權的選民選出
資料來源：香港立法會，綜合傳媒報導

泛民〔伝統的民主派〕議員の多数が議員資格をはく奪されたまま立法会は任期を終えた

前回の立法会選挙は 2016 年 9 月 4 日に投票が行われた。2014 年の雨傘運動のあとの最初の選挙だったので、地区直接選挙区には多くの民主派、本土派、民主自決派が立候補し、地区直接選挙区の投票率は 58.28%に達した。議席全体では体制派が 70 席中 40 議席を獲得したが，民主派も返還後史上最多の 29 議席を獲得した。

しかし当選直後から〔独立派の〕梁頌恆、游蕙禎の両議員が議員宣誓の際に「HONG KONG IS NOT CHINA」と書かれた文字を掲げたことで、宣誓無効で議員資格をはく奪された。つづいて梁國雄（長毛）、劉小麗、羅冠聰、姚松炎の 4 名のラディカル民主派、民主自決派の議員も、議員宣誓の不備を政府が裁判に訴えて、議員らが敗訴し（2017 年）、2016 年 10 月 12 日にさかのぼって議員資格が剥奪された。

DQ＝資格を失う、資格を得られない「ディス・クオリフィケーション」。

4年內，30人次遭港府DQ，取消參選或議員資格

取消參選資格　喪失議員資格

2020
● 立法會換屆選舉

何桂藍　岑敖暉　黃之鋒　袁嘉蔚　劉頴匡

梁晃維　鄭錦滿　郭榮鏗　楊岳橋　郭家麒

鄭達鴻　梁繼昌

選舉主任指支持港獨、尋求外國干預、原則性反對國安法、表明意圖否決政府議案等

年份	人物	理由
2019 ● 區議會選舉	黃之鋒	選舉主任指提倡包含港獨選項的民主自決
2019 ● 村居民代表選舉	朱凱廸	選舉主任指支持港獨作為港人自決前途的一個選項
2018 ● 立法會補選	周　庭　劉頴匡　陳國強　劉小麗	選舉主任指推動含港獨選項的民主自決，支持或主張港獨
2016-17 ● 立法會任期內	梁國雄　梁頌恆　劉小麗　羅冠聰　游蕙禎　姚松炎	法院裁定宣誓無效
2016 ● 立法會換屆選舉	陳浩天　楊繼昌　中出羊子　梁天琦　陳國強　賴綺雯	選舉主任指支持港獨

資料來源：綜合各大傳媒報導、政府新聞稿

立法會誓言

我，　　　　　　　　　　　　，謹此宣誓，本人就任中華人民共和國香港特別行政區立法會議員，定當擁護《中華人民共和國香港特別行政區基本法》，效忠中華人民共和國香港特別行政區，盡忠職守，遵守法律，廉潔奉公，為香港特別行政區服務。

The Legislative Council Oath

I,　　　　　　　　　　　　, swear that, being a member of the Le… …f the Hong Kong Special Administrative Regio… I will uphold the Basic Law of… Region of the People's Rep… Hong Kong Special Admini… of China and serve the Ho… conscientiously, dutifully,… and with integrity.

2020 年 7 月には、穏健民主派の公民党の楊岳橋、郭榮鏗、郭家麒、梁繼昌の 4 人の議員が、9 月に予定されていた立法会選挙に立候補する資格を有しないと香港政府が宣言。2019 年の反送中運動で、アメリカに制裁を求め、予算案など政府案を否決に追い込もうとしたことがその理由とされた。

同年 11 月 11 日に中国全人代常務委員会が《全國人民代表大會常務委員會關於香港特別行政區立法會議員資格問題的決定》を採択して，立法会選挙を一年程度延期すると発表し、現在の議員らの任期も一年延長するとしたが、上記 4 人の議員資格は認めないと決定したことから、他の民主派議員 15 人も抗議の辞職。

結局のところ、16 年選挙で 29 議席を獲得した反対派は、会期末までにすべての議席を失った。のこった43人の議員のうち、1人中立〔医師〕、1人反対派〔「熱血公民」で独自路線の右派反対派で民主派にはカウントされない〕以外の 41 人は体制派〔うち1人は議長〕。こうして 2021 年 5 月 27 日に香港立法会で賛成 40、反対 2 票で、《2021 年選挙制度を完全に整備する条例》案が可決、成立した。

立法会選挙は「愛国者」の争いに 候補者の多くが中国と何らかの関係を持つ

2021.12.21 初選47人案

黃子悅獲准保釋

累計15人獲批擔保

黃子悅 楊雪盈 林景楠 呂智恆 劉偉聰 黃碧雲 鄭達鴻 柯耀林
彭卓棋 何啟明 施德來 李予信 鄒家成 余慧明 陳志全

32人在囚近10個月 獄中度過冬至

戴耀廷 區諾軒 趙家賢 鍾錦麟 吳政亨 袁嘉蔚 梁晃維 徐子見
岑子杰 毛孟靜 馮達浚 劉澤鋒 黃之鋒 譚文豪 李嘉達 譚得志
胡志偉 朱凱廸 張可森 伍健偉 尹兆堅 郭家麒 吳敏兒 譚凱邦
何桂藍 劉頴匡 楊岳橋 林卓廷 范國威 梁國雄 岑敖暉 王百羽

2020 年には民主派議員の一部もデモ参加などを理由に起訴される。また 20 年 7 月に民主派が実施した候補統一のための予備選挙が「国家転覆」にあたるとして黄之鋒、岑子杰ら 55 人が 21 年 1 月に逮捕、47 人が起訴され、立候補資格も失った。

新しい選挙に導入された資格審査委員会によって民主派の立候補の道はさらに狭まった。

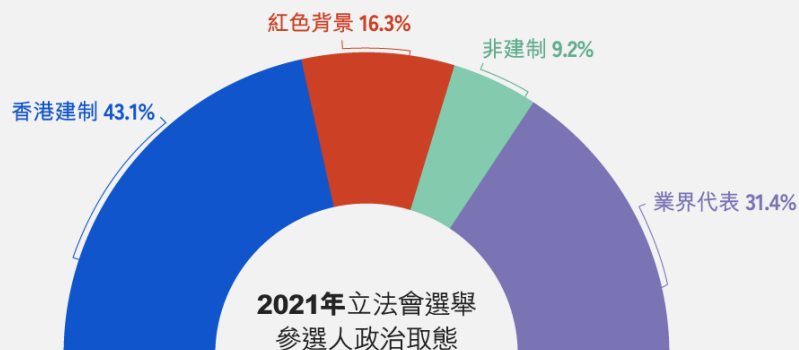
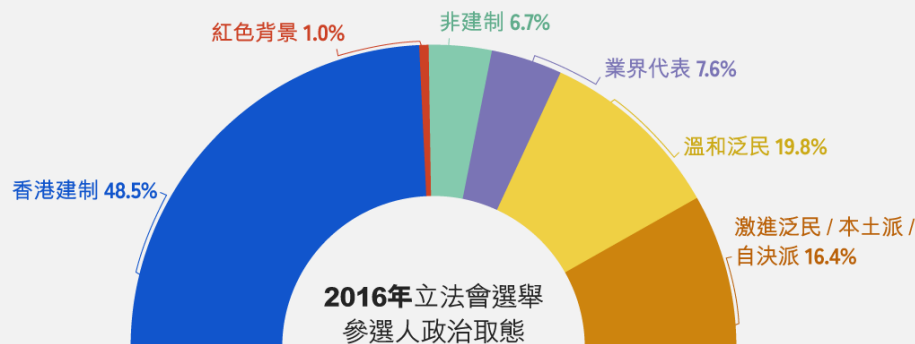
中国全人代常務委員会が 2021 年 3 月 30 日に公布した《基本法》付属文書では、行政長官や立法委員に立候補しようとするものは、まず警務處國家安全處〔20 年 7 月国安法施行で香港警察内に新設された部署〕による候補者の調査書に基づき、國家安全委員會〔香港政府が設置する委員会〕が意見書をつくり、資格審査委員會はそれに基づき立候補しようとするものが「香港基本法を擁護する」、「香港特別行政區に忠誠を誓う」かどうかなどの條件に合致するかを審査する。

その審査に通らないと立候補資格は認められない。審査結果は最終決定で裁判などに訴えることはできない。

香港國安委

2021 年 11 月 12 日に立法會選舉の立候補が締め切られた。154 人が立候補したが、一人だけ政府部門との兼任が発覚したことで立候補資格が認められなかった。。

立候補した 153 名のうち 58 人が建制派（体制派），非体制派を公言するのは 7 人。しかし 88 人が「政治的には独立」としながらも、実際には香港政府や中国政府とつながりがあることが確認されている。

香港政府ナンバー2の李家超政務官は、今回の候補者はさまざまな政治的傾向があるが、選挙期間中の論戦は理性的なものになるだろうとコメントした。しかし、「国家安全維持法」のもとで、民主派議員や立候補を予定していた活動家の多くが逮捕され海外に亡命せざるを得ない今回の選挙は「愛国者」による「内輪も内輪の選挙」と言わざるを得ない。

大公文匯 HKTKWW

2021年立法會選舉
90名立法會議員「全家福」

選委會界別當選名單

陸頌雄 馬逢國 黃國 陳凱欣 鄧飛 謝偉俊 林智遠 管浩鳴
林筱魯 周文港 江玉歡 陳月明 李浩然 陳家珮 陳曼琪 蘇長荣
孫東 譚岳衡 吳傑莊 陳紹雄 洪雯 林順潮 陳仲尼 容海恩
陳沛良 劉智鵬 簡慧敏 林琳 陸瀚民 葛珮帆 郭玲麗 黎棟國
梁美芬 何君堯 麥美娟 黃元山 李鎮強 張國鈞 梁毓偉 林振昇

地區直選當選名單

新界西南：陳恒鑌 民建聯；陳穎欣 工聯會
新界西北：周浩鼎 民建聯；田北辰 實政圓桌
新界北：張欣宇 香港新方向；劉國勳 民建聯
新界東北：李梓敬 新民黨；陳克勤 民建聯、新社聯
新界東南：李世榮 民建聯、新社聯；林素蔚 專業動力有限公司
九龍東：鄧家彪 工聯會；顏汶羽 民建聯
港島西：葉劉淑儀 新民黨；陳學鋒 民建聯
港島東：梁熙 民建聯；吳秋北 工聯會
九龍西：梁文廣 西九新動力；鄭泳舜 民建聯
九龍中：李慧琼 民建聯；楊永杰 無政黨

功能界別當選名單

鄉議局 劉業強
漁農界 何俊賢
保險界 陳健波
航運交通界 易志明
教育界 朱國強
法律界 林新強
會計界 黃俊碩
醫療衞生界 林哲玄
工程界 盧偉國
建築、測量、都市規劃及園境界 謝偉銓
勞工界 梁子穎 周小松 郭偉强
社會福利界 狄志遠
地產及建造界 龍漢標
旅遊界 姚柏良
商界(第一) 林健鋒
商界(第二) 廖長江
商界(第三) 嚴剛
工業界(第一) 梁君彥
工業界(第二) 吳永嘉
金融界 陳振英
金融服務界 李惟宏
體育、演藝、文化及出版界 霍啟剛
進出口界 黃英豪
紡織及製衣界 陳祖恒
批發及零售界 邵家輝
科技創新界 邱達根
飲食界 張宇人
全國人大政協及有關全國性團體代表界 陳勇

回顧2016立法會選舉

非建制派當選31人如今命途

流亡/離港

許智峯

郭榮鏗

羅冠聰

梁頌恆

在囚/還柙

胡志偉

尹兆堅

林卓廷

譚文豪

范國威

區諾軒

梁耀忠

梁國雄

郭家麒

楊岳橋

朱凱廸

毛孟靜

保釋

陳志全

黃碧雲

鄺俊宇

涂謹申

李國麟

退出/淡出政圈

梁繼昌

陳淑莊

莫乃光

葉建源

邵家臻

張超雄

游蕙禎

劉小麗

姚松炎

鄭松泰

2021.12.18

小裝修啫

阿塗